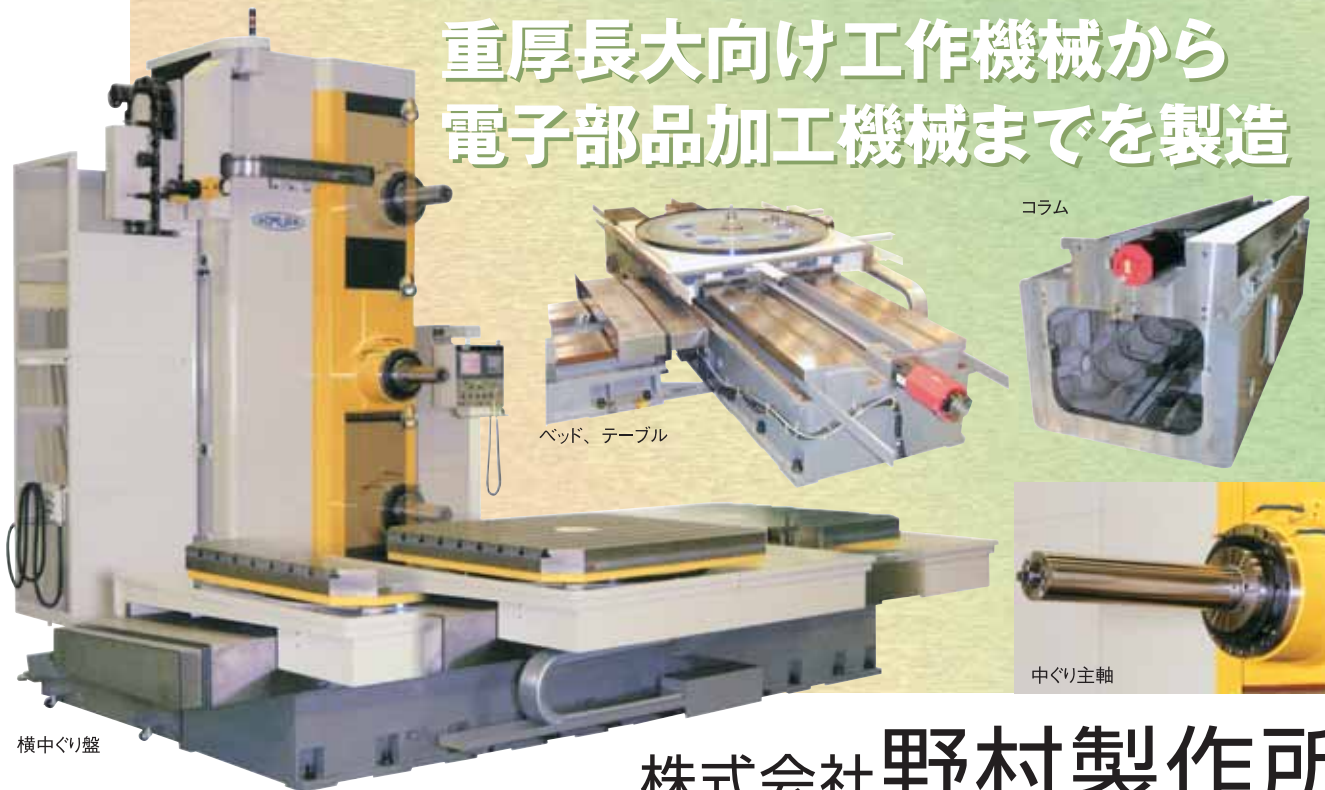


重厚長大向け工作機械から 電子部品加工機械までを製造



コラム

ベッド、テーブル

中ぐり主軸

横中ぐり盤

株式会社野村製作所

航空機等大形工作物を ミクロン単位で加工

野村製作所は、重厚長大産業向けの横中ぐり盤を中心とした工作機械製造をメインに、水晶振動子の研磨機、電子部品加工機械、自動開袋機等の環境機器製造を手がけている。同社主力の横中ぐり盤は、航空機や発電用のガスタービン、原油掘削機の部品等を加工するときに利用される。重たく大きい部品は素材自体を上下左右に動かすことが難しいため、機械自体が動いて加工しなければならない。

自動車を製造する時には、まず車体の金型を製作するが、それらは大きく重いので、機械自体が動く横中ぐり盤を使用するのだ。しかも車体の場合、曲面、平面、穴等が組合わさり、複雑な形状をしている。同社の機械は、曲面、平面、穴ぐり等の複雑な形状を100分の1mmから1000分の5mm単位で加工が可能。重く、厚く、長く、大きい部品を精度を保ちながら自在に加工できるのだ。

同社は、これら工作機械を汎用品とオーダーメイドで対応。特にオー



ダーメイド品には定評がある。創業以来、九十余年、今までに多種多様な業種の加工機械を手掛けてきた。その積み重ねてきた経験と高い技術が、新たな加工方法を作り出し、ニーズに応じた提案につながっている。培ってきた技術は、環境機器の製造を経て、現在「超大型ラップ・ポリッシュ盤」や「液晶パネル面取機」といった電子部品加工機械の分野にも活かされている。機械自身の水平をしっかりと保ち、材料をミクロン単位で精密に研磨できるため、水晶振動子材料にも対応できるのだ。

薬品、食品の現場で活躍する 自動開袋機

同社では、横中ぐり盤の製造と共に早くから袋の自動開袋機を製造し、食品、薬品の製造現場の異物混入防止、作業環境の改善、省力化に一役買っている。開袋前に袋の表面をクリーンにし、袋に穴を開けると同時にエアを送り込む。エアを送ることで、袋の中の材料を宙に浮いた状態にして出やすくするのだ。1時間に200袋のスピードで材料の99.9%以上が回収できるという。これらの技術では、特許を取得。原料の取り出しから、原料の仕込みまで行えるため、多くの生産現場で使用されている。

工作機械はすべての機械の母

手がける機械は多種だが、すべてがマザーマシン。そして、そのマザーマシンを作るのは人である。

森恭男社長は語る。「ものづくりは人づくり。当社は人を育てるための労力は惜しみません。人から教わりその通りできるまでには3年、お客様のニーズを汲み取るまでに10年はかかります。それまで、マンツーマンで教えていきます。最後は人ですから」。

すべての産業の根幹を支えている工作機械。同社の技術と人が日本の産業を支えているのだ。

主な事業内容

横中ぐり盤等の工作機械、自動開袋機等の環境機器、ラップ・ポリッシングマシン等電子機器関連製品の製造・販売等



森 恭男さん
代表取締役

株式会社野村製作所

住所 〒596-0001
大阪府岸和田市磯上町3-25-1
創業 大正2年
設立 平成13年1月
資本金 4,400万円
従業員 85名 (平成21年1月現在)
TEL 072-438-8285
FAX 072-438-8286

Company
Profile

大阪
20

ISO 9001

<http://www.nomurass.co.jp/>